



## 小休止

本番が近づいているが、35Rの教室をのぞいてみると、たいてい元気な顔が並んでいる。苦しい時ほど、友だちというのは大切なものである。だから、家に籠もっているよりも、教室に顔を出した方が能率が上がることもあるだろう。

ただし、2年生のあるクラスではインフルエンザが流行りだしている雰囲気もあるということなので、マスクをしたり、手洗い・うがいを何かのたびに繰り返したりするように心掛けたい。ちなみに、マスクは呼吸による細菌感染(拡散)を防ぐように思いがちだが、実は人間は無意識に手で顔を触ったりしがちなので、その手からの感染を防ぐ上で大きな役割を果たしているのだそう。勉強しながらつい髪をいじってしまうとか、鼻をほじってしまう(笑)とかいう人は、この時期はマスクを着用すると安全かも。

昨日は「探検バクモン」が放映されて、すっかり忘れていて見逃すところだったが、その前にやっている「ガッテン」が上手な揚げ物の作り方だったので、夫婦で見えたこともあり、ラッキーなことに？見逃さずに済んだ。数学の授業風景が3年生だったので、●●くんがなかなかカッコイイ発言をしている場面があったり、31Rの諸君が登場した場面では、文系の必選古文で顔を合わせている諸君が大部分だったので、授業では見られない(笑)キリリとした表情などが見られたりして、なかなか楽しかった。

ところで、先日面白い話を聞いた。といっても、多分君たちにはちっとも面白くないかもしれないのだが、それは私の姓のルーツに関する話である。神奈川に保土ヶ谷と戸塚が

あるから、その辺りの人が結婚でもしたのだろうと、深く考えたこともなかったのだが、なんと私の妹から雑談の途中で保戸塚という姓の由来を教えられたのである。

ちなみに、妹は誰からその話を聞いたのかというと、父からだという。なんと、父は長男である私には伝承せずに(したつもりになっていたのか、私が伝承されたことを忘れていたのか…汗)、娘に由来を伝えていたことになる。妹は妹で、私が知らなかったことが意外だったらしいが…。

さてその由来だが、我が一族は、昔武蔵国を支配していた豊島家の家来だったらしい。

(豊島家は、今の「豊島区」とか「豊島園」とかにその名を残している。スペースがないので、詳しくはWikiなどを参照のこと)。主として狼煙(のろし)を上げることなどを役職として仕えていたようで、ということは、おそらくそれほど身分の高い武士ではなかった、というか、武士ではなかったのかも知れない。しかし、まじめに仕えた結果、その功績が認められて、ある日、主人から姓を与えられることとなり、家(=戸)と墓(=塚)が絶えることなく続く(=保)ような一族となるように、という意味を込めて「保戸塚」という姓を賜ったというのである。

なるほど、そのような話を聞くと、なかなかめでたい姓のような気がしてくるから不思議である。私の家の周囲には、本家を筆頭に今でも多くの「保戸塚」が居住しているが、その多くがかつては農業を営んでいた(練馬大根ですな)。そんな一族のルーツは、そんなところにあっただようである。